



# 重要文化財 我妻家住宅

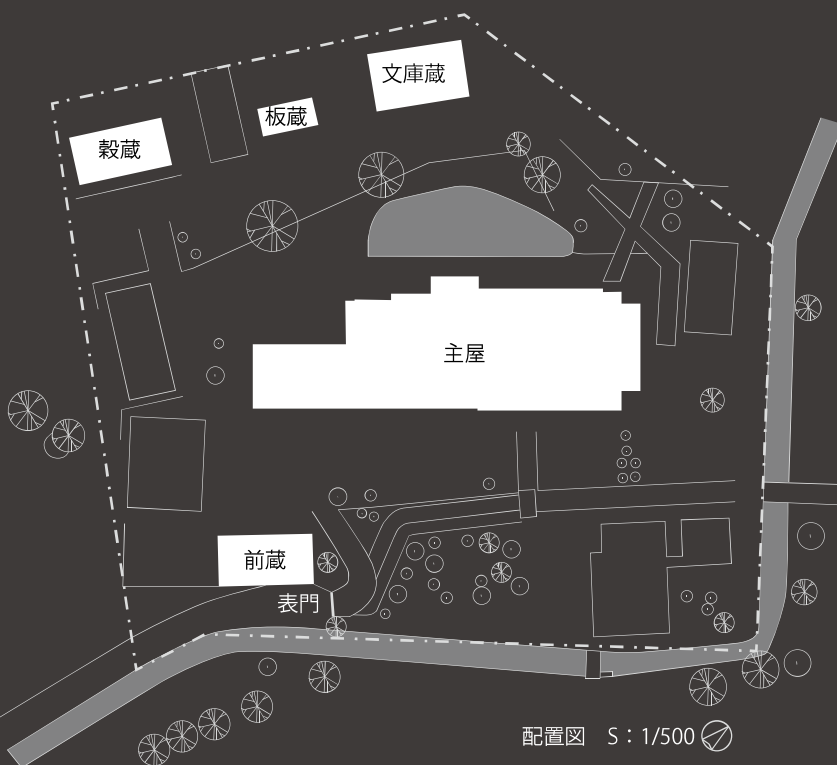
## AGATSUMA FAMILY HOUSE

### 主屋ほか 5 棟保存修理（災害復旧）工事

- ・総事業費：77,020,000 円
- ・対象建物：主屋、文庫蔵、前蔵、板蔵、附穀蔵、表門
- ・工期：R3.11.01～R6.06.30

### 主屋ほか 3 棟 保存修理工事

- ・総事業費：143,570,000 円
- ・対象建物：主屋、文庫蔵、前蔵、板蔵
- ・工期：R4.11.01～R6.11.30



我妻家は蔵王町の山村地帯にある古い由緒をもつ家で、蔵王町宮の白鳥明神の禰宜（神主の下、祝の上に位する神職）を勤めていたので禰宜屋敷とよばれている。また、かつて建物の全長が 25 間あったので「二十五けん」と呼ばれていたという。本屋は全長 120 尺（36.4m）にも及ぶ長大な建物で茅葺、寄棟屋根の前面の巨大な櫛形の破風が美しい。入口には棟門をもっている。最近の復原修理の結果、居宅部は広間形の 3 間取となった。上手の別棟書院座敷（ひろま）は、表側の半分は壁に、半分は部に復原された。このときの墨書から主屋は宝暦 3 年（1753）、ひろまはやや遅れて付加されたものとみられている。台所庭には、屋根組を支える手斧削りの円柱 6 本が礎石の上に建っている。外観内部いずれにも江戸中期の豪農層の風格を残している。



# 「屋根葺替」

## ふきかえ ／屋根葺替とは

→昔のやり方を守りながら  
新しい屋根材料に交換すること

屋根葺替になる建物：

主屋 　／茅葺 令和6年に施工する予定  
板蔵・前蔵／板葺 施工中



前蔵の屋根葺替

竹釘と鉄釘で、栗の板を一枚一枚止めていく。

# 工事内容



屋根の厚みが経年で薄くなった。地震で壁に亀裂が入った。

主屋



板蔵  
地震で壁板がずれた。



前蔵

地震で漆喰壁が落ちた。



文庫蔵

地震で漆喰壁が落ちた。



附穀蔵

地震で土壁、腰壁板が落ちた。

# 工事する建物

# 「左官工事」

## ／地震により、土壁が落下

壁を塗り直す建物：

主屋 　／耐震補強工事が完了してから塗り直す  
文庫蔵／荒壁を落として、全部塗り直す  
前蔵・附穀蔵／荒壁を残して、塗り直す

地震で出来たヒビを埋める。



前蔵のヒビ割れ埋め

混ぜた土を鏝で壁にめつていく  
むら（斑直し）。



前蔵の土壁塗り直し